

非鉄金属精練・圧延業におけるはさまれ巻き込まれ災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	0~1	工場内からポット置場にて、フォークリフトを使うポット清掃のやり方を新入社員に教えようと手本を見せ新入社員にフォークリフトに乗るように指示を出して、フォークリフトに乗せ、被災者はフォークリフト左後輪近くに立ち指示を出しながら教えていた時に、新入社員がフォークリフトに乗り慣れていないこともあり、バックで急発進したこと、左後輪が被災者方向に向いていたことが重なり、左後輪で被災者の左足を踏んでしまい負傷した。	34	10 ~ 29
3	2~3	工場では原料の解砕前にロールクラッチャーのロールに汚れが見えたため、確認しようと手袋を掛けた投入ホッパーの中に入れた際、停止状態であると思い込んでいたが運転状態だったため、ロールに右手を巻き込まれた。	31	100 ~ 299
3	9~10	工場北棟2階研磨班にて包装機1号ラインのシーラー部の点検作業中、振動が発生していたため、設備を稼働させたまま確認のためギヤ部に左手を持って行ったところ、軍手ごと巻き込まれて負傷した。	40	300 ~ 499
7	17~18	ダイヤスト製品の切断作業を終了し清掃作業をやり始めるところで、先ず、切断機（丸ノコ）の電源をOFFにした。通常なら、丸ノコの回転が完全に停止したことを確認してからエアガンで切り粉を飛ばし、掃き掃除をするが、実際には丸ノコの回転が未だ停止しておらず、そのことに気付かないままエアガンを使用し、右手にエアガンを握ったまま丸ノコの刃に接触してしまった。	62	50 ~ 99
9	11~12	フード集塵機スクリュウコンベアー軸折損事故の溶接修理作業完了後、試運転を行おうと被災者が作業員Aに指示し、スイッチを入れた。被災者は目視で確認していたが、目視する場所を変えるため、移動しようとした時、皮手袋の右手小指がスク	59	10 ~ 29

リューコンベアーの羽根に触れ巻き込まれ、羽根とカバーに右前腕を挟まれた。

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)